

〔續修東大寺正倉院文書二〕御野國加毛郡半布里大寶二年戶籍 無印

下々戶主島手正年冊五

嫡子山寸丁年十九少

次百足小年十四

次小足○年四小

戶主弟小島正年冊四

嫡子大庭小年十六

次小庭年十二

次廣庭小年十

戶主弟多都正年冊七

嫡子金寸少年十八

次小寸小年十六

○年十四

次古猪年十

次猪手緣年一兒

〔續日本紀十七〕天平勝寶元年五月戊辰從七位上陽侯史令珍正八位下陽侯史令珪從八位上陽侯

史令璆從八位下陽侯史人麻呂並授外從五位下四人並是真身之男各貢錢千貫也

〔皇胤紹運錄〕陽成天皇諱真明治八年母皇太后高子長良卿女

元良親王三品兵部卿母主殿頭藤遠長女

佐材王從五上

佐時王從五上母神祇伯藤邦隆女

佐賴王從四上母延喜醍醐第八內親王

佐兼王從五上

源佐藝從四上母字多第七內親王誨子

源佐平中務大輔刑部卿

源佐親

〔大鏡二〕太政大臣基經御おのこ、四人おはしき太郎左大臣時平、次郎左大臣仲平、四郎太政大臣忠

平といふに、まげきがけしきことになりて、まづうしろの人のかほうち見渡して、それぞこのい

はゆるおきなが、たからのきみ、真信公におはしますとて、あふぎうちつかふかほもち、ことにを